

研究会報告

第7回 NMR マイクロイメージング研究会は、2002年7月8、9日の二日間に渡って、新日鐵代々木研修センターにおいて開催されました。

初日に行われたシンポジウム「最新技術は何を可能にするか？」においては、8件の講演が行われ、技術的・理論的観点から NMR マイクロイメージングの将来展望が討議されました。また、シベリアの大地における地球規模での NMR イメージングについて Prof. Eiichi Fukushima (New Mexico Resonance)より話題提供がなされ、10マイクロメートルから数百メートルまでをも対象とできる NMR の魅力を実感しながら、懇親会にはいりました。2日目には10件の一般講演および1件の特別講演が行われました。特別講演では、植物の水の重要性や機能との関連を含めたイメージングの重要性などが語られ、異なる手法からの結果の融合をはかり、新しい発見に結び付けられないか考えさせられました。一般講演も多岐にわたり、積極的な意見交換が行われ、非常に有意義な研究会となりました。

研究会への参加者総数は約80名弱でした。広い分野から大勢の方々にご参加いただきまして、感謝しております。また、本研究会に協賛、ご支援いただきました企業の方々に、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

第8回 NMR マイクロイメージング研究会は、村上政隆先生（岡崎国立共同研究機構）と瀬尾芳輝先生（京都府立医科大学）が世話人となり、2003年7月上旬に岡崎にて開催する予定です。来年も大勢の皆様のご参加を期待しております。

第7回 NMR マイクロイメージング研究会

世話人 渡部 徳子